

女性部

女性活躍推進セミナー

- ・日時：12月8日（火）午後2時
- ・場所：アイリス愛知 2階 会議室 サフラン
（名古屋市中区）
- ・参加者：19名

新型コロナウイルス感染症の拡大により延期されておりました「女性活躍推進セミナー」が、感染症防止対策を図った上で開催されました。

開会の挨拶で東久保真弓会長は「本日のセミナーは、国及び愛知県におかれまして女性活躍促進の最前線でご活躍の愛知県副知事 青山桂子氏を講師としてお招き致しました。これからの女性部の方向性について等、貴重なお話しを伺える良い機会として拝聴させていただきたいと思っております。」と述べました。

セミナーは「女性が輝く社会をめざして」～女性が元気に働き続けられる愛知に向けて～と題し、青山桂子副知事が登壇されました。

「女性を巡る状況」として、2017年就業構造基本調査によると愛知県の女性の就業希望者は31万人となっており、女性は潜在的な働き手として期待されています。女性活躍推進が進む企業ほど、経営指標が良い傾向にあり、ワーク・ライフ・バランス（WLB）への取り組み、女性管理職数が増加している企業ほど業績が向上する傾向が見られます。女性活躍推進に取り組んだことによるメリットとして、女性のモチベーションの向上、仕事の効率化や業務の改善の進歩、人材が確保しやすく定着率も上がり、男性への刺激となったことが挙げられました。

愛知の女性活躍推進をめぐる状況として、女性の労働力率を示す年齢別グラフでは、30代女性の数値が低く谷となりM字形となっており、上場企業のうち女性役員の在籍する企業割合や、女性管理職割合は全国平均を下回っているとのこと。

「愛知県の取組」として、女性職員の活躍促進に向けた取組指針が述べられ、女性職員のキャリア支



青山副知事（前列中央）を囲み協会理事、女性部の記念撮影

援と登用、ワーク・ライフ・バランスの推進、職員の子育て応援プログラムでは2020年度までに男性職員の育児による休暇等の取得率、女性職員の育児休業取得率共に100%が数値目標です。

取組の中では、『女性が元気に働き続けられる愛知』の実現に向け、職場における女性の“定着”と“活躍”の拡大を図るため、県庁内に青山副知事をリーダーに、関係事業監及び課室長をメンバーとする部局の横断的なプロジェクトチームが設置され、全庁を挙げて女性の活躍推進プロジェクト事業が設立された経緯と「あいち女性の活躍促進プロジェクト」の紹介がありました。

「女性の活躍に向けて」では、現状・課題の分析の一例として、管理職に就ける能力を持つ女性が足りていない、女性職員が管理職を目指しながらない等が挙げられました。この現状を踏まえ、職種ごとに課題がどこにあるのか分析して組織全体で「気づく」ことが重要であるとのこと。

このような背景を踏まえ、女性活躍を推進するポイントとして、組織が変わる、職場風土を変える（出産育児を経た女性がマミートラックに陥らないための意識改革等）、管理職が変わる（残業の多い管理職についての超勤の削減、キャリア評価の改革等）、女性・男性職員も変わる、との具体的な方向性が示され、女性管理職者にとっては現状打破につながる

取組が多く挙げられました。

まとめとして、仕事と生活の両立に向けてでは、仕事の効率化（仕事の見える化、かかえこまない、時間マネジメント）、100%を目指さない（仕事80%+家庭80%→160%、あまり悩まない、自分が元気で継続できる状態が大事）の二つを挙げ、何より女性が活躍するために必要なこととして、人を育てる、男性中心のマネジメントで回る組織から、全職員の能力を引き出すマネジメントへ、女性活躍促進と職員全体のワーク・ライフ・バランスと働き方改革は車の両輪であると力強く述べました。

青山副知事ご自身は、お子さんが幼い頃に仕事を辞めてほしいと言われたことがあり、当時の想いを懐かしむようにお話しされました。最後に今思い返せば子どもの年齢ごとにそれぞれ悩みが違うので、それを楽しむ余裕を持ってください、との苦勞を乗り越えられた方からの優しいアドバイスがあり、講演を終えました。

講演後は、①女性活躍推進に向けての環境整備に

ついて、②女性部としての社会貢献について、③女性社員の定着率について、④育児休業に対する中小企業への補助金について、⑤愛知県内の異業種女性団体との交流会開催について、の5項目について青山副知事と意見交換が行われました。

中でも異業種の女性団体との交流については、他組織や他業種の女性部の活動について青山副知事から話があり、コロナ禍ということもあり交流が難しい状況下ではありますが、愛知県でも交流会については今後検討させていただきたいとの回答がありました。

参加された副会長中野兼司氏から青山副知事へセミナーのお礼と、「完璧を目指さない、誠実に対応する、この二つの言葉に感激しました。そして女性部の皆さんには、声を上げ続けることが大切であり、存在を周知していただくことへの積極的な活動に今後期待をいたします。」との意見がありました。

最後に加藤友美副会長の挨拶がありセミナーは終了しました。

活動報告

臨時総会

- ・日 時：10月14日（水）午後2時
- ・場 所：協会3階会議室（名古屋市中区）
- ・出席数：18名（内委任状提出17名）

第1号議案「役員（会計）の辞任に伴う後任役員（会計）の選任について」は原案通り、永井産業株式会社永井愛氏が後任に選任されました。

「女性部リモート意見交換会」の為の説明会

- ・日 時：10月28日（水）午後1時30分
- ・場 所：協会3階会議室（名古屋市中区）
- ・出席数：9名

今後リモートでの活動を視野に入れた準備説明会が開催されました。リモート環境についての事前の準備は整いましたが、会員が社員の立場の方は、リモート事業の開催時間帯が就業時間内の場合の時間

調整について、出席者の意見を基に話し合いが行われました。

「第9回女性部会のつどい on the Web」開催

- ・日 時：11月27日（金）午後2時
- ・場 所：協会3階会議室（名古屋市中区）

初めてリモートシステムを活用しての開催でしたが、46名（1都10県）の方が参加されました。パソコン画面を通して各地域の女性部の活動報告、情報・意見交換など活発に話し合うことができました。今後コロナ禍における事業の企画において、リモートシステムの運用が推進されるとのことです。

